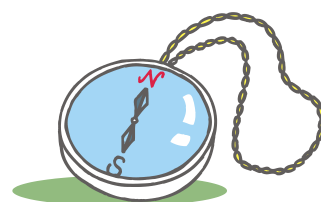


# 羅 針 盤

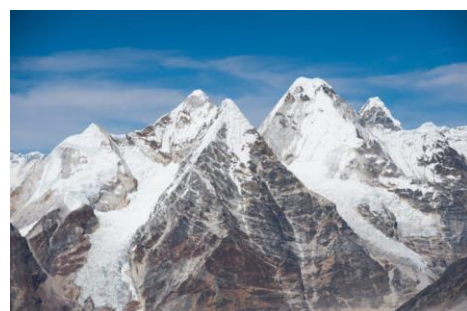
第 3 号

令和3年（2021年）4月19日（月）



## ◆ 挑戦する

今年の入学式では、「挑戦する」ことについてもお話しました。これまでも、校長室だより「羅針盤」では、日本人で初めて世界最高峰のエベレストの登頂に成功した登山家の植村直己さんの残した言葉である「あきらめないこと。どんな事態に直面してもあきらめないこと。結局、私のしたことは、それだけのことだったのかもしれない。」を紹介したことがあります。彼自身、幾度となく失敗を繰り返しながらも、決してあきらめることなく挑戦し続けた結果として、エベレスト登頂が成功したと話しています。入学式では、今から9年前となる2012年5月に、日本人で初めて、世界でも29人目となるヒマラヤの高さ8000mを超える地球上にある14の全ての山の完全登頂に成功するという偉業を成し遂げた、同じく登山家である竹内洋岳（たけうちひろたけ）さんの言葉を紹介しました。彼もまた、幾度となく、雪崩（なだれ）にも遭い、意識不明にもなり、そして、奇跡的に救出されるといった体験もしながら、それでも、挑戦する気持ちを持ち続け、山を目指して悲願を達成することができました。竹内さんは、「必ず登れると分かっていたら登る必要はない、と私は思っている。この山には登れないかもしれないが、登るためにはどうすればいいのだろう。これを考えるのが、最もわくわくして、登山のおもしろいところです。」と話してくれています。生徒の皆さんも、学ぼうとする意欲や頑張ってみようと思う気持ち、伸びていこうとする気持ちを持っているはずです。挑戦し続ける気持ちを忘れることなく、自分の持つ可能性を信じて、夢や目標をしっかりと見定めて、少しずつでも自分のできることから努力を積み重ねること、どれだけ遠い道のりであろうとも、あきらめることなく前へ前へと進んで行けば、必ずやいつかは目標地点にたどり着くことができるはずです。竹内洋学さんのあきらめずに挑戦し続けた結果として得ることができたものから、私たちも学ぶべきことがたくさんあると思います。皆さんにも、挑戦する気持ちを忘れずに、有意義な学校生活を過ごしてもらいたいと考えています。



## ◆ 8000m峰14座

8000m峰14座というのは、ヒマラヤ山脈及びカラコルム山脈に存在し、地球上にそびえたっている標高8000mを超える14の山のことを指しています。具体的には、エベレスト（8848m）、K2（8611m）、カンチェンジュンガ（8586m）、ローツェ（8516m）、マカルー（8481m）、チョ・オユー（8188m）、ダウラギリ（8167m）、マナスル（8163m）、ナンガパルバット（8126m）、アンナプルナ（8091m）、ガッシャーブルムⅠ峰（8080m）、ブロードピーク（8051m）、ガッシャーブルムⅡ峰（8034m）、シシャパンマ（8027m）の14の山々のことです。また、8000m峰14座完全登頂者のことを「14サミッター」と呼ぶそうです。竹内洋岳さんが世界29人目の14サミッターとなりましたが、世界初の14サミッターはイタリア人の登山家ラインホルト・メスナーという人で、現在も「14サミッター」となった人は全世界でわずか30数人しかいないそうです。